



大阪暁明館 だより

2012.Vol.2

平尾名誉院長 就任！

「より良い病院の運営をめざして」

大阪暁明館病院 名誉院長
平尾佳彦

本年4月に大阪暁明館病院の名誉院長に就任した平尾佳彦です。今回、来年4月に西九条駅前に新築移転する大阪暁明館病院の運営の相談役というお話を戴き、赴任いたしました。今まで奈良県立医科大学教授として、泌尿器科学を中心に40年間奉職してきました。本院泌尿器科の開設時は手術などに関わってきましたが、今回、改めて本院の歴史を見直しました。

本院は、3年後の2015年に創立100周年を迎えます。創立以来、多くの諸賢が本院の発展に大きく貢献されてきたこと、また、キリスト教精神に基づいて多大な私財を投じられたことなど、その運営には様々なご苦労があったことを知りました。これらの多くの先達のお陰で、此花における医療・介護の中心的役割を担う社会福祉法人として本院は運営され、地域の方々に親しまれてきました。

本院の基本理念は、「本院はキリスト教精神に基づく全人的医療を通して、地域住民が心の絆を実感できる病院を目指します」とされています。一体、キリスト教精神とは何でしょうか？判りやすい言葉でいえば、「弱者を愛する心」とも、「自分がして欲しいと思うことを相手にする心」といわれています。同様に、仏教でも他人の立場や心情を思いやり宥(ゆる)す心、「恕」がその根幹をなすといわれています。キリスト教、仏教を問わず、古今東西を通じてこの精神が人の道の基本になると考えられており、まさに医療のあるべき姿といえます。

それでは「全人的医療」とは何でしょうか？ 近年、医療の発展により長寿・健康社会が到来しましたが、逆に医療に対する疑惑や不信感が高まる風潮が見られています。このことは、病人を「壊れた部品」や「制御が狂ったシステム」を持っているものと考え、部品やシステムの修復の対応に追われている医療者の増加が原因の一つといわれています。部品やシステムのみでなく、人として患者の望みに応えることが、まさに「全人的医療」であると考えています。

これらの医療の基本である「キリスト教精神に基づく全人的医療」の推進には、同時に医療水準を高く保ち、安全で質の高い医療が提供できる医療環境の整備が強く求められています。

大阪北市民病院跡地に急性期263床、回復期リハビリ84床、障害者療養45床、医療療養90床からなる計482床の第2次救急病院として新築移転する施設では、伯鳳会グループの一員として、職員一同、心を一つにして、地域の方々から、心の絆を実感できる病院、「私達の病院」と呼んでいただけるよう、移転に向かって準備をしています。今後とも、より良い病院の運営をめざしますので、ご希望やご意見があれば、遠慮なく職員にお申し付け下さい。





がんけんかすい

眼瞼下垂について

形成外科部長 升岡 健

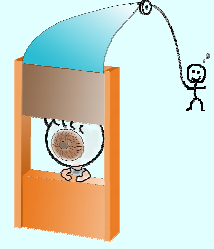
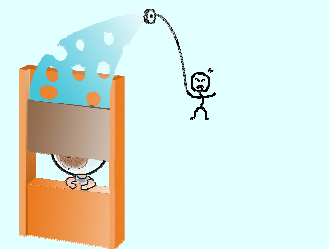
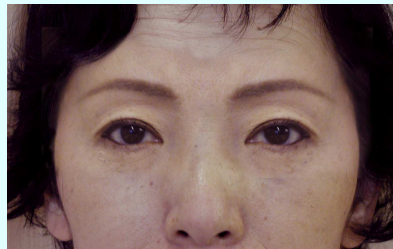
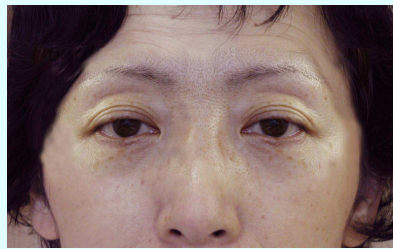
眼瞼下垂とは

まぶたが何らかの原因で開きにくくなった状態を眼瞼下垂（がんけんかすい）といいます。多くの人は老化に伴い、まぶたが垂れ下がってきます。そのため、ものが見える範囲が狭くなり、日常生活に支障が出てきます。また、ものが見える範囲が狭くなることで、姿勢が悪くなったり、肩こりや頭痛などの原因にもなると言われています。原因には色々ありますが、ここでは、多くの方に関係する老化によるもののうち、主な2つについて簡単に説明します。

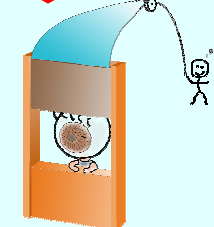
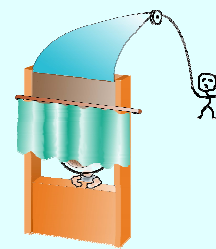
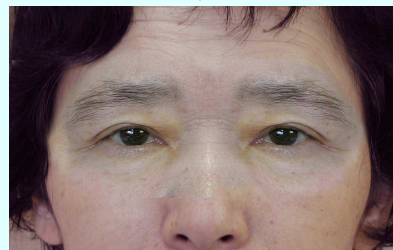
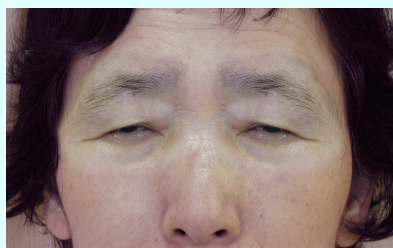
原因

まぶたは眼瞼挙筋という筋肉が、まぶたを引っ張り上げることで開いています。この筋肉とまぶたをつないでいる膜が擦り切れてくると、目があけづらくなってきます。

このような場合には、擦り切れた膜を修復する手術を行うことで、目があけやすくなります。



もう一つよく見られるのは、まぶたの上の皮膚がまっげにかぶさるくらいに垂れ下がり、ものが見えにくくなっている状態です。このような場合には、垂れ下がった皮膚をたくし上げたり、切り取ったりする手術を行うことで、ものが見えやすくなります。



手術による治療

いずれの場合も、手術は局所麻酔で行います。手術は外来通院で行う場合もありますが、左右両側の手術をする場合などには、術後入院していただいています。術後約1週間で傷の抜糸を行います。おおまかな腫れは1～2週間でなくなります。朝のむくみなどは2カ月程度持続します。

実際には、ここで説明したこと以外の原因があったり、2つ以上の原因が重なっていたりすることもあり、個々の状態によって手術方法が変わってきます。詳しくは形成外科担当医と診察時にご相談下さい。

(写真は説明用にCG合成されたものです)



大盛況!「看護の日」フェア!



看護の心をみんなの心に
5月12日は
看護の日

ハンドマッサージや 善哉無料サービス!

5月12日(土)、病院近くの「四貴島商店街」で、「看護の日」フェアを開催しました。

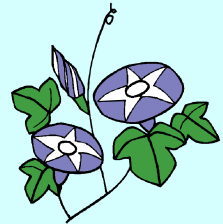
「看護の日」は、5月12日のナイチンゲールの誕生日にちなみ、看護の心、助け合いの心を誰もが育むきっかけになるようにと、1990年に制定され、各地で様々なイベントが催されています。

当日は、商店街の空き店舗を借りきり、体脂肪測定やハンドマッサージなどのほか、先着200名に善哉の無料サービスを行いました。

来春、西九条に新築移転することもあり、地域の方からは「移転してもしっかりやるんやで」「新しくなっても中身が大事。がんばってや」など励ましの声をいただきました。皆さまありがとうございました。



外科新体制でスタート!



平成24年7月より、石丸英三郎医師が外科部長に就任し、外科が新しい体制でスタートしました。

外科部長
石丸 英三郎

平成3年 近畿大学医学部卒業
医学博士
日本外科学会外科認定医、専門医、指導医
日本消化器外科学会認定医
日本消化器がん外科治療認定医
日本大腸肛門病学会専門医
日本消化器病学会専門医、指導医
日本消化器内視鏡学会専門医、指導医
日本がん治療認定機構がん治療認定医
近畿外科学会評議員



「当科は近畿大学医学部外科関連施設として、消化器外科・胸部外科・一般外科など幅広い分野の外科診療を行っています。外科が対象とする疾患は、悪性消化器疾患(胃がん、大腸がん、肝臓がん、胆道がん、膵臓がんなど)、良性消化器疾患(胆石症、胆嚢炎、虫垂炎、腸閉塞、消化管穿孔など)、気胸、肛門疾患および(単径・大腿・腹壁・臍)ヘルニアです。さらに、中心静脈ポート留置、内視鏡的胃瘻造設術(PEG)も行っております。どうぞよろしくお願い致します」

■外科外来担当表

		月	火	水	木	金	土
午前	1診	肝・胆・膵 石川	胃・大腸・一般 石丸	一般・呼吸器 水内	胃・大腸・一般 石丸	西嶋	
	2診		肝・胆・膵 竹山				
午後				古城			



健康レシピ

大阪暁明館病院 栄養科

「トマトグラタン」

「トマトが赤くなると医者が青くなる」と言われるほど、赤いトマトにはさまざまな効能があります。トマトには緑色から赤色に熟していく過程で、赤い色素である「リコピン」が大量に増加し、食物繊維やビタミンC、Eなどの成分も増加していきます。最近注目を浴びている「リコピン」には、抗酸化作用＝生活習慣病の原因となる活性酸素を消去する働きがあります。また悪玉コレステロールを減少させ、動脈硬化や高血圧予防にもなります。

選び方…ヘタがみずみずしい緑色で、丸みがあり、濃く鮮やかな赤色のもの。

保存方法…完熟したものは保存袋に入れ冷蔵庫で保存。5℃以下では味が落ちるので注意。

旬…6～9月

調理のポイント…トマトに含まれるリコピンは油に溶けやすい性質があるので、油を使うとよいでしょう。吸収率が3倍、4倍にもなると言われています。



エネルギー 165kcal 塩分0.5g

材料(1人前)

- ・トマト1個(100g)
- ・ベーコン5g(1/4枚)
- ・アボカド25g(1/4個)
- ・ピザ用チーズ10g
- ・パン粉小さじ1
- ・塩少々
- ・こしょう少々
- ・オリーブオイル5g

作り方

- ①トマトは底の部分部分を約1cm切り取り、中身をくりぬく。キッチンペーパーで水気をふき取る。
- ②ベーコン、アボカド、①で切り取ったトマトを約1cm角に切り、塩、こしょうと混ぜ合わせる。
- ③①のトマト皿に②を詰め、チーズ、パン粉を上に乗せ、オリーブオイルをかける。
- ④220～230℃のオーブンまたは予熱したオーブントースターで15～20分ほど焼く。

参考:「レシピ大百科」味の素KK 料理レシピ HP

平成24年度入職式

新たに56人が仲間に加わりました!

4月2日(月)、平成24年度の入職式を行いました。今年度は法人全体で55名が入職。期待と不安を胸に、社会人として新たな一歩を踏み出しました。入職式では、岸本チャプレンによる礼拝に続き、坂院長が一人ひとりに辞令を交付。全員神妙な面持ちで受け取っていました。このあとさっそく入職オリエンテーションに臨み、医療人としての基本的知識を学びました。これからどうぞよろしくお願い致します。



新しいデイサービスセンターの建築祝福式を実施

大阪暁明館が、平成24年11月に開設を予定しているデイサービスセンターの建築祝福式を、3月12日に行いま



した。古城理事長をはじめ、関係者約30人が出席。大阪暁明館病院伝道所の岸本チャプレンの司式のもと、鍬入れなどを行いました。新しいセンターでは、『おとなの学校』と、最近注目を集めている「パワーリハ」を取り入れ、認知症予防やADLの維持改善を目指します。

大阪暁明館だより

平成24年7月5日発行



社会福祉法人 大阪暁明館
大阪暁明館病院

〒554-0022 大阪市此花区春日出中 1-22-12
電話(06)6462-0261(代表)
FAX(06)6462-0362
<http://www.gyomeikan.or.jp>